

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【公表番号】特表2004-502856(P2004-502856A)

【公表日】平成16年1月29日(2004.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2004-004

【出願番号】特願2002-509421(P2002-509421)

【国際特許分類】

C 0 9 B	67/20	(2006.01)
B 4 1 M	5/00	(2006.01)
C 0 9 B	67/46	(2006.01)
C 0 9 B	69/00	(2006.01)
C 0 9 D	7/12	(2006.01)
C 0 9 D	11/00	(2006.01)
C 0 9 D	201/00	(2006.01)
G 0 2 F	1/167	(2006.01)
G 0 3 G	9/09	(2006.01)
B 4 1 M	5/382	(2006.01)
B 4 1 M	5/42	(2006.01)
B 4 1 M	5/46	(2006.01)
B 4 1 J	2/01	(2006.01)

【F I】

C 0 9 B	67/20	F
B 4 1 M	5/00	E
C 0 9 B	67/46	B
C 0 9 B	69/00	Z
C 0 9 D	7/12	
C 0 9 D	11/00	
C 0 9 D	201/00	
G 0 2 F	1/167	
G 0 3 G	9/08	3 6 1
B 4 1 M	5/26	F
B 4 1 M	5/26	Q
B 4 1 J	3/04	1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月30日(2008.6.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】式-X-Sp-Alkで示される少なくとも1つの有機基を結合した顔料を含有する修飾顔料生成物であり、ここでXは顔料に直接に結合し、アリーレン、ヘテロアリーレンもしくはアルキレン基を示し、Spはスペーサ基を示し、そしてAlkは50~200の炭素原子を含むアルケニルもしくはアルキル基を示す。

【請求項2】非水性溶媒ならびに式-X-Sp-Alkで示される少なくとも1つの有機基を結合した顔料を含有する修飾顔料生成物を含有する分散体組成物であり、ここ

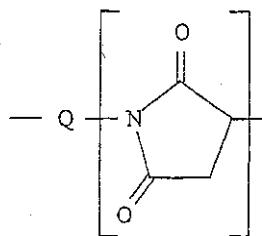
でXは顔料に直接に結合し、アリーレン、ヘテロアリーレンもしくはアルキレン基を示し、S pはスペーサ基を示し、そしてA l kは50～200の炭素原子を含むアルケニルもしくはアルキル基を示す。

【請求項3】 a) 基板および b) 放射線吸収層を含む印刷版であり、放射線吸収層は式-X-S p-A l kで示される少なくとも1つの有機基を結合した顔料を含む少なくとも1つの修飾顔料生成物を含有し、ここでXは顔料に直接に結合し、アリーレン、ヘテロアリーレンもしくはアルキレン基を示し、S pはスペーサ基を示し、A l kは50～200の炭素原子を含むアルケニルもしくはアルキル基を示す。

【請求項4】 放射線吸収層がさらにポリマーを含有する請求項3記載の印刷版。

【請求項5】 S pが次の式；

【化3】



を有するサクシンイミジル基である請求項19記載の印刷版であり、ここでQは結合もしくは- $\text{SO}_2\text{C}_2\text{H}_4(\text{NR}'\text{Alkylene})_p$ -基を示し、基Alkyleneは線状もしくは分枝 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキル基であり、R'は、独立して、水素、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルキル基、もしくは($\text{AlkyleneNR})_p$ R基であり、pは0～10の整数、そしてRは、同一もしくは異なっていてもよく、水素または置換もしくは非置換アリルもしくはアルキル基を示す。

【請求項6】 パターンを境界づける少なくとも放射線吸収層を選択的に除去もしくは化学的に修飾るべき画像を示すパターンで、印刷版をレーザー出力に選択的に露光させることを含む請求項3記載の印刷版の画像形成方法。

【請求項7】 パターンを境界づける画像形成層の部分を除去することのできる溶媒に印刷版をさらすことをさらに含む請求項6記載の方法。

【請求項8】 a) 基板、b) UV硬化性層およびc) 放射線吸収層を含むフレキソ印刷版であり、放射線吸収層は式-X-S p-A l kで示される少なくとも1つの有機基を結合した顔料を含む少なくとも1つの修飾顔料生成物を含有し、ここでXは顔料に直接に結合し、アリーレン、ヘテロアリーレンもしくはアルキレン基を示し、S pはスペーサ基を示し、A l kは50～200の炭素原子を含むアルケニルもしくはアルキル基を示す。

【請求項9】 放射線吸収層がさらにポリマーを含有する請求項8記載のフレキソ印刷版。

【請求項10】 a) インク層、b) 光熱層およびc) 支持体を含む感熱転写記録材料であり、光熱層は式-X-S p-A l kで示される少なくとも1つの有機基を結合した顔料を含む少なくとも1つの修飾顔料生成物を含有し、ここでXは顔料に直接に結合し、アリーレン、ヘテロアリーレンもしくはアルキレン基を示し、S pはスペーサ基を示し、A l kは50～200の炭素原子を含むアルケニルもしくはアルキル基を示す。

【請求項11】 光熱層がさらにポリマーを含有する請求項10記載の感熱転写記録材料。

【請求項12】 a) 放射線透過支持体、b) 放射線硬化性層およびc) 受容層を含むブルーフィング材料であり、放射線硬化性層は式-X-S p-A l kで示される少なくとも1つの有機基を結合した顔料を含む少なくとも1つの修飾顔料生成物を含有し、ここ

でXは顔料に直接に結合し、アリーレン、ヘテロアリーレンもしくはアルキレン基を示し、S pはスペーサ基を示し、A l kは50～200の炭素原子を含むアルケニルもしくはアルキル基を示す。

【請求項13】 放射線硬化性層がさらにポリマーを含有する請求項1_2記載のブルーフィング材料。

【請求項14】 透明な基板上に感光性コーティングを付着させること、コーティングを画像態様に露光させ、そしてコーティングを現像および乾燥することにより形成されるブラックマトリックスであり、感光性コーティングは溶媒ならびに式-X-S p-A l kで示される少なくとも1つの有機基を結合した顔料を含有する修飾顔料生成物を含有し、ここでXは顔料に直接に結合し、アリーレン、ヘテロアリーレンもしくはアルキレン基を示し、S pはスペーサ基を示し、そしてA l kは50～200の炭素原子を含むアルケニルもしくはアルキル基を示す。

【請求項15】 さらに感光性樹脂を含有する請求項1_4記載のブラックマトリックス。

【請求項16】 マイクロカプセルの配列を含む電気泳動ディスプレイであり、マイクロカプセルは絶縁流体ならびに式-X-S p-A l kで示される少なくとも1つの有機基を結合した顔料を含有する修飾顔料生成物を含有し、ここでXは顔料に直接に結合し、アリーレン、ヘテロアリーレンもしくはアルキレン基を示し、S pはスペーサ基を示し、そしてA l kは50～200の炭素原子を含むアルケニルもしくはアルキル基を示す。

【請求項17】 非水性ベヒクルならびに式-X-S p-A l kで示される少なくとも1つの有機基を結合した顔料を含有する修飾顔料生成物を含有する非水性インクジェット用インク組成物であり、ここでXは顔料に直接に結合し、アリーレン、ヘテロアリーレンもしくはアルキレン基を示し、S pはスペーサ基を示し、そしてA l kは50～200の炭素原子を含むアルケニルもしくはアルキル基を示す。

【請求項18】 非水性コーティング組成物における請求項1記載の修飾顔料生成物の使用。

【請求項19】 ポリマー組成物における請求項1記載の修飾顔料生成物の使用。

【請求項20】 非水性インク組成物における請求項1記載の修飾顔料生成物の使用。

【請求項21】 トナー組成物における請求項1記載の修飾顔料生成物の使用。